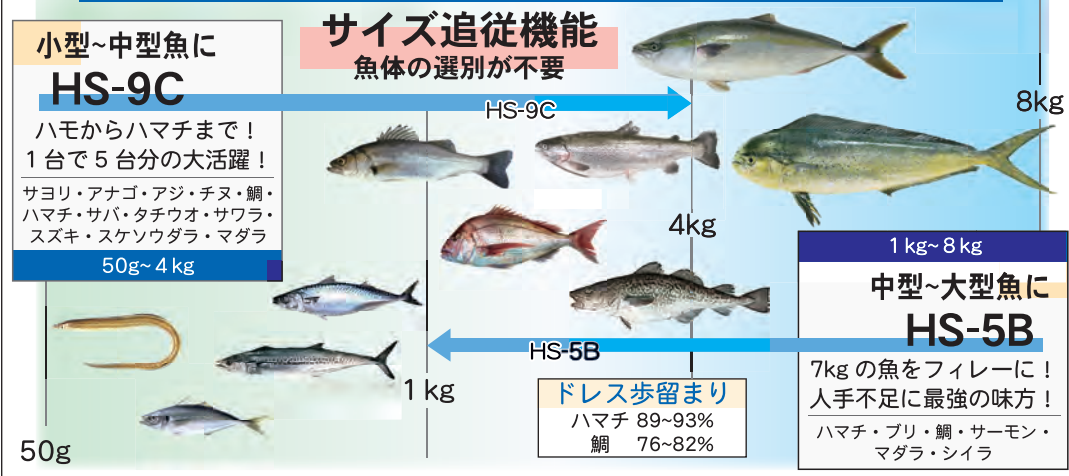


世界に挑戦！HSシリーズ加工範囲図



理工エンジニアリング



万能フィレマシン開発

大型魚用魚種・サイズ問わず連続処理

理工エンジニアリング(株) (高知県高知市、有光功社長) は斬新なフィレマシンを開発させた。無調整のまま簡単操作で、大型魚を魚種・サイズを問わず、連続加工ができる。漁獲量が低減する一方で、地域によっては今まで見られなかった魚種が捕れるようになるなど予測が困難な時代。水産加工機械の開発を自ら行う有光社長は「このマシンがあれば、ある程度大型魚はカバーできる」と自信を示している。

新フィレマシン「HS-5B」はブリやマダラ、サーモン、タイ、ハマチなど中々大型魚に対応。搬送の仕組みを骨を基準

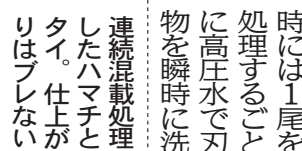
として捉えている。骨がフックに引っ掛かり魚を送る構造で、骨の位置は変わらないため、対象となる魚の基準点も変わらない。そのため魚種や形状が変わろうとも1つのマシンでフィレーにできる仕組みだと説明する。しかも、この仕組みのため作業途中で魚種が変



マシンへの投入 運転スイッチを押すだけ



骨を基準としてフィレーにしたマダラとカツオ



連続混載処理したハマチとタイ。仕上がりはブレない

わっても、調整することなくそのまま続けられるのが最大の特長。2kgのタイを処理中に、4kgのハマチが混載していても連続加工ができる。

が、そのフックが長楕円軌道を移動し前後の位置でフックが上下に回転する構造のため、送り長さよりも装置が長くなる。そのため装置自体も大きくなることは避けられなかった。

しかし、「HS-5B」はフックが連続回転ではなく、シャトルタイプとしたため動きの範囲はよりコンパクトに。それが装置の大きさにも反映され、大型化するのを解消。長さ234cm幅108cm高さ163cmと省スペース型に仕上げた。

装置と作業場の衛生にも配慮。ロックを外せば刃物の開閉が簡単にできるため洗浄がしやすい。さらに、高圧水ポンプを内蔵しているため、運転時には1尾を処理するごとに高圧水で刃物を瞬時に洗

「HS-9C」もあり、こちらは50gから4kgと小中魚向けで三枚おろしと中骨取り開き加工が可能に。この2機種があれば、さまざまなシーンで活躍が期待できる。

「衛生的に基準を満たさない設備では導入の余地がない。それは特にスーパーの加工場でよりシビア」と有光社長。また「スーパーと取り引きしている水産メーカーも同じ。メーカーも基準を満たした機械で加工しない限り、顧客との取り引きを失いかねない」と語り警鐘を鳴らしている。

出遅れている」と語る。大手のスーパーマーケットでは、加工の集約を担うセンターを持つようになった。そこでは魚の加工も一手に担い、水産機械を導入する機会も一段と増した。

「従来のフィレマシンの多くが送り装置にベルト式を採用しているのに対し、「HS-5B」はシャトル式を採用。このため魚に余分なストレスがかからなくなり、軟らかい身質の魚でもフィレーの自動化が可能となった。その顕著な例がカツオ。「カツオのフィレマシンは世界初なのは」と有光社長は語る。

従来のフィレマシンの多くが送り装置にベルト式を採用しているのに対し、「HS-5B」はシャトル式を採用。このため魚に余分なストレスがかからなくなり、軟らかい身質の魚でもフィレーの自動化が可能となった。その顕著な例がカツオ。「カツオのフィレマシンは世界初なのは」と有光社長は語る。

「カツオのフィレマシンは世界初なのは」と有光社長は語る。地元・高知の特産でもあるカツオ。そのフィレ自動化は不可能なものだとして誰もが考えも起こさなかったが、同社が先導して形にした。「機械メーカーはユーザーの

先を常に先見して、こちら側から提案しなければ意味がない。それが世界に挑戦する姿勢でもある」と胸を張る。

「カツオのフィレマシンは世界初なのは」と有光社長は語る。地元・高知の特産でもあるカツオ。そのフィレ自動化は不可能なものだとして誰もが考えも起こさなかったが、同社が先導して形にした。「機械メーカーはユーザーの先を常に先見して、こちら側から提案しなければ意味がない。それが世界に挑戦する姿勢でもある」と胸を張る。



有光功社長

世界にも例のない水産機械を完成させることができた。従来機種では実現できなかった機能が大量

専用機不要の時代

らわれることなく、アイデア次第で、最小の投資で、未利用魚も含め商品化が可能となった。皆さまの製品開発に寄与できればと願う。

と確信している。北海道では以前にも増してブリが捕れだしている。変化の激しい水産業界の中で、シーズンにと

激しい変化の中では、専用機では適用の範囲が限られるため、かえって柔軟に対応できない。導入したものの、工場の隅

で眠っていることも少なくない。大型魚で、魚種・サイズが広範囲に対応できる「HS-5B」はその点を克服した。このほか、フィレマシ

ン「HS-9C」もあり、こちらは50gから4kgと小中魚向けで三枚おろしと中骨取り開き加工が可能に。この2機種があれば、さまざまなシーンで活躍が期待できる。

「カツオのフィレマシンは世界初なのは」と有光社長は語る。地元・高知の特産でもあるカツオ。そのフィレ自動化は不可能なものだとして誰もが考えも起こさなかったが、同社が先導して形にした。「機械メーカーはユーザーの

先を常に先見して、こちら側から提案しなければ意味がない。それが世界に挑戦する姿勢でもある」と胸を張る。

「カツオのフィレマシンは世界初なのは」と有光社長は語る。地元・高知の特産でもあるカツオ。そのフィレ自動化は不可能なものだとして誰もが考えも起こさなかったが、同社が先導して形にした。「機械メーカーはユーザーの

先を常に先見して、こちら側から提案しなければ意味がない。それが世界に挑戦する姿勢でもある」と胸を張る。

コンパクト&高性能

革新的水産加工機を提案する



2013年度 精密工学会 中国四国支部
~受賞題目~ 【技術賞】受賞
魚類等軟質材の加工法と加工装置の開発

最強フィレマシンHSシリーズ

サイズ追従、魚体選別が不要に！

小型~中型魚に
HS-9C



多用途機能

中骨取り開きと三枚下ろし加工が可能
特許構造により、無調整で広範囲の加工が可能
ハモ加工の場合は、200gから35kgまで調整無し
中骨取り開き、又は三枚下ろし加工が可能

簡単

魚種に合わせて入口ガイドを調整するだけで、誰でも簡単に使用できます。
刃物の開閉やコンベアベルトの取り外しが簡単なので、掃除・洗浄もしっかりでき、いつも清潔にできます。

高品質・高速

歩留まり最高36%！！(ハモ15kg頭無し例)
尻尾の端まで製品に。
一匹当たり2~4秒で開きます。
投入時間込みでも4~6秒で加工できます。
変速装置付

DDモーターを採用

刃物駆動は高効率DDモーターを採用し、長寿命を実現！
刃物の調整はダイヤルで簡単調整

中型~大型魚に
HS-5B



水産加工機械の
イノベーション企業

開発・製造・発売元 理工エンジニアリング株式会社 〒781-5101 高知県高知市布師田3061

http://www.fbuick.jp TEL:088-846-6838 FAX:088-846-6839

代理店 エフビック東販売株式会社 株式会社タイヨー製作所 有限会社 ダイヒサ